

癌難病専門医 前山和弘医師 点滴液副反応ゼロ

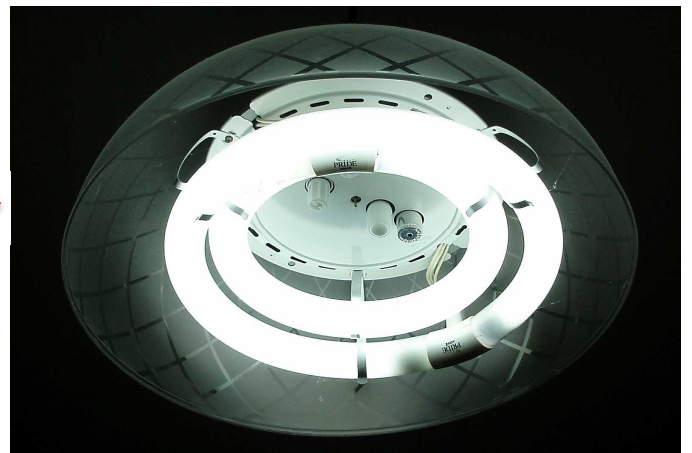
汚水再生実験は3333坪ドロドロの汚水セラ投入。電子の働きで汚水BOD14。半年後2.6。環境汚染の改善は体内の水が蘇る技術です。植物は幹に傷が入ると、樹液を出し傷ついた細胞を甦る「抗体力・蘇生力」を点滴液に転写
 東京癌難病専門医アートメディアクリニック丸山医師は10年前に採用『蘇る水注射ご報告申し上げます。注射当日はだるく成る人が多い様です。末期癌患者は38.5熱を出した方もいます。しかし翌日はすっきりする様で自然解熱してむしろ全身状態が良くなりました。』以上。開発者も東京に行き〈蘇る水〉点滴液20分投与後の尿は、不純物が無い透明感に驚きました。医師は薬を使用せずどんな難病も壊れた細胞を甦らせ治すと明言身体を持つ免疫力・治癒力を中心に施術を行います。医者が付けた難病〈蘇る水〉点滴液は身体の毒を分解。血液の汚れの改善で血液は真っ赤です

36兆個細胞はPCと同じで電気の回路と同じで絶えず細胞には電子が流れています。「例」交通事故で左腕が上がらない原因を岡山大学で検査。MRA検査では電子が流れる箇所に2本の線が有る大道波が一本切れていた。電子が無く成るとご臨終です。新しい蘇生電子のご紹介いたします。水質浄化バイオセラを5ℓタンクに水道水を入れ14日間放置。切れた電気の球が点灯した。しかし線が無いのに切れた玉が点灯。不思議な現象は58時間も電気が点灯。部屋の空間は身体大変爽やかでした。身体は電子の痺れも無く世界初の体験は驚きです。人類が植物の免疫力・蘇生力・抗体技術を持つならばコロナに掛かっても、血液が汚れず、血栓に成らず、壊れた大火傷さえ細胞が甦りました。医学や薬では副作用が強く根幹から治す事は不可能。厚生労働省の医療費削減は、食と水の改善が一番重要と考えていると回答

切れた電球の球は何年も、切れていた



蘇る水を作り1m移動。電気が点灯した驚き



蘇る水の中には電子が含有 酸化結合分解洗浄



空気の「酸化」⇒「蘇生」へ変換する技術

